

解答上の注意

1. 問題用紙 2 枚, 答案用紙 2 枚.
2. 答案用紙にはそれぞれ氏名と学籍番号を明記すること.
3. 答案用紙は裏面を使ってもよい. その場合は「裏へ」と明記すること.
4. 答案の並びは問題番号の並びと違っていてもよい. 問題番号を明記すること.
5. 持ち込み不可.

問題 1

以下が成り立つことを示せ. ただし $\varphi(x, y, z)$ はスカラー関数, $\mathbf{A}(x, y, z)$, $\mathbf{B}(x, y, z)$ はベクトル関数とする.

$$(1) \nabla \times (\nabla \varphi) = 0$$

$$(2) \nabla \times (\mathbf{A} \times \mathbf{B}) = (\mathbf{B} \cdot \nabla) \mathbf{A} - (\mathbf{A} \cdot \nabla) \mathbf{B} + \mathbf{A}(\nabla \cdot \mathbf{B}) - \mathbf{B}(\nabla \cdot \mathbf{A})$$

$$(3) \nabla \times (\nabla \times \mathbf{A}) = \nabla(\nabla \cdot \mathbf{A}) - \nabla^2 \mathbf{A}$$

問題 2

- (1) r 個のベクトル $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_r$ が 1 次独立であり, $r+1$ 個のベクトル $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_r, \mathbf{b}$ が 1 次従属である場合, \mathbf{b} は \mathbf{a}_j の 1 次結合で表されることを示せ.
- (2) 1 次独立な 2 つのベクトル $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2$ から, 正規直交系 (大きさが 1 で互いに直交するベクトル) を作れ.

問題 3

静止している直交座標系に対し, 第 3 軸を軸として一定の角速度 ω で回転する座標系の運動方程式を以下の手順で求めよ.

- (1) 静止している直交座標系の基底ベクトルを $\mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2, \mathbf{e}_3$, 回転する座標系の基底ベクトルを $\mathbf{e}'_1, \mathbf{e}'_2, \mathbf{e}'_3$ とする. このとき

$$\frac{d\mathbf{e}'_1}{dt} = \boldsymbol{\omega} \times \mathbf{e}'_1, \quad \frac{d\mathbf{e}'_2}{dt} = \boldsymbol{\omega} \times \mathbf{e}'_2, \quad \frac{d\mathbf{e}'_3}{dt} = 0,$$

であることを示せ. ただし $\boldsymbol{\omega} = \omega \mathbf{e}'_3$ である.

- (2) 位置ベクトル $\mathbf{r} = x\mathbf{e}_1 + y\mathbf{e}_2 + z\mathbf{e}_3 = x'\mathbf{e}'_1 + y'\mathbf{e}'_2 + z'\mathbf{e}'_3 = \mathbf{r}'$ について以下の関係が成り立つことを示せ.

$$\begin{aligned}\frac{d\mathbf{r}'}{dt} &= \frac{d'\mathbf{r}}{dt} + \boldsymbol{\omega} \times \mathbf{r}', \\ \frac{d^2\mathbf{r}'}{dt^2} &= \frac{d^2\mathbf{r}}{dt^2} + 2\boldsymbol{\omega} \times \frac{d'\mathbf{r}}{dt} + \boldsymbol{\omega} \times (\boldsymbol{\omega} \times \mathbf{r}').\end{aligned}$$

ここで

$$\begin{aligned}\frac{d'\mathbf{r}}{dt} &= \frac{d'x'}{dt}\mathbf{e}'_1 + \frac{d'y'}{dt}\mathbf{e}'_2 + \frac{d'z'}{dt}\mathbf{e}'_3, \\ \frac{d^2\mathbf{r}}{dt^2} &= \frac{d^2x'}{dt^2}\mathbf{e}'_1 + \frac{d^2y'}{dt^2}\mathbf{e}'_2 + \frac{d^2z'}{dt^2}\mathbf{e}'_3\end{aligned}$$

と表される回転系の時間微分である.

- (3) 静止系での運動方程式

$$m \frac{d^2\mathbf{r}}{dt^2} = \mathbf{F}$$

を回転系の表現に変換せよ.

問題 4

- (1) 密度 $\rho(x, y, z, t)$ である流体が速度 $\mathbf{v}(x, y, z, t)$ で運動しているとする. 流体のわきだしも吸い込みもないとすると, 以下の方程式が成り立つことを示せ.

$$\frac{\partial \rho}{\partial t} + \nabla \cdot (\rho \mathbf{v}) = 0.$$

- (2) 閉曲線 C に沿って発生する電場を \mathbf{E} とすると, ファラデーの電磁誘導の法則から

$$\oint_C \mathbf{E} \cdot d\mathbf{r} = -\frac{d\Phi}{dt}$$

が成り立つ. ここで Φ は C によって囲まれた曲面 S を貫く磁束である. 磁束密度を \mathbf{B} とすると $\Phi = \int_S \mathbf{B} \cdot \mathbf{n} dS$ と表されることを用いて, 微分形のファラデーの電磁誘導の法則

$$\nabla \times \mathbf{E} = -\frac{\partial}{\partial t} \mathbf{B}$$

を求めよ.